

自然と共生するスマートエコアイランド 種子島シンポジウム ～ プラチナ社会の実現に向けて ～

東京大学 理事・副学長

総括プロジェクト機構 「プラチナ社会」総括寄付講座 代表・教授

大久保 達也

UTokyo **COMPASS** 

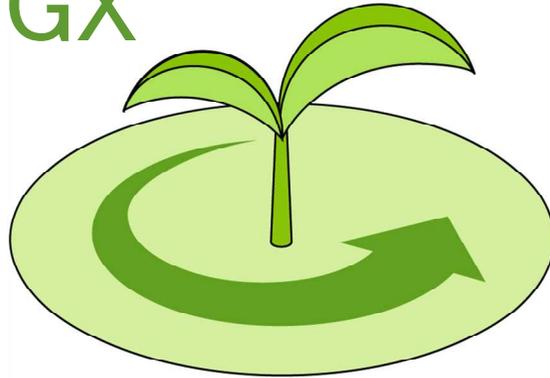
多様性の海へ： 対話が創造する未来

Into a Sea of Diversity: Creating the Future through Dialogue

東京大学が目指す理念と基本方針

具体的な行動計画

GX



グリーントランス フォーメーション

GX: Green Transformation



国際的なGXを先導

グローバル・コモンズ・ステewardship指標の作成、産学連携プラットフォームETI-CGCを新たに組織、東京大学のCO2実質排出量を2030年度に2006年度比で半減、Race-to-Zeroに参加、GX本部(仮称)の設置



GXを先導する人材の育成

人類の共有財産としての地球システム(グローバル・コモンズ)に関する教育を実施、GXを先導する高度人材育成プログラムの推進



GXに資する地域・産業との協創

脱炭素の実現に向けた実行計画策定の支援、GXに資する先端研究領域における文理融合による産学協創の推進

東京大学の二酸化炭素排出量削減目標

2030年度に2006年度比で半減することを目指す。

- パリ協定よりも厳しい目標。長期的には政府の脱炭素宣言2050年ゼロへ。
- 政府の排出削減目標は2030年度に2013年度比で46%減。

CO₂排出量 [t-CO₂/年]



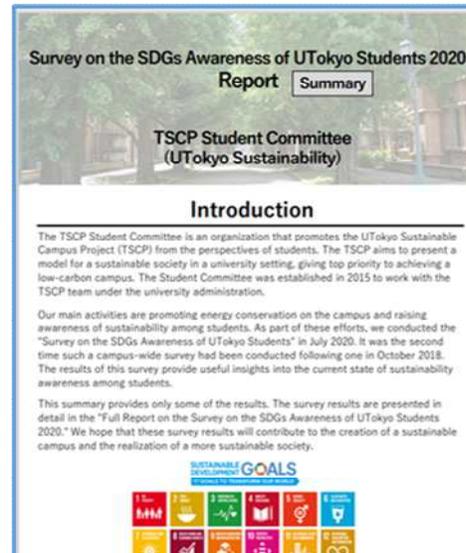
TSCP: UTokyo Sustainable Campus Project

～ 低炭素キャンパスづくりを最優先課題とする全学的な取り組み ～

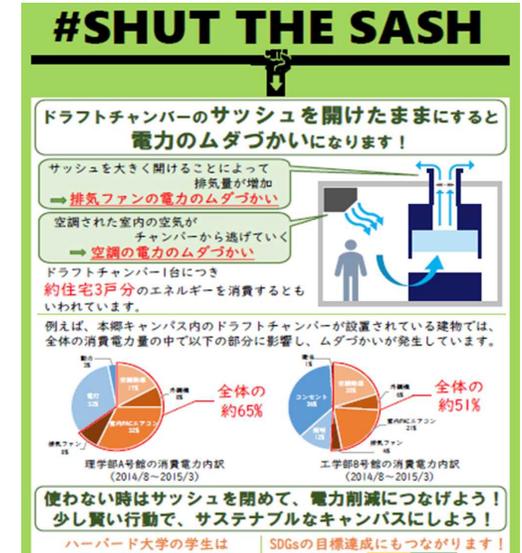
TSCP学生委員会の活動



学生委員会ZOOMミーティング



東大生SDGs意識調査_報告書



ヒュームフード省エネ啓発ポスター



ワークショップの開催



ワークショップの開催



展示会 (エコプロ) への参加

Race to Zeroへの加盟

Race to Zero

2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを達成するための行動を呼びかける国際キャンペーン

UNFCCC (国連気候変動枠組条約事務局) が2020年6月に発表

世界の35地域、799都市、4475企業、731教育機関、250金融機関などが加盟 (世界経済の7割以上の規模)

東京大学は2021年10月に加盟 (日本の国立大学として初)



11月のCOP26にて
グラスゴーの会場と日本を
繋いだ学生による対話イ
ベントを実施

研究・教育の効用を減少させずに都市型大学としてカーボンニュートラルを計画・実行



Teruo Fujii (UTokyo)

Race to Zero加盟後の学生対話イベント

Race to Zero加盟後、11月のCOP26にて、グラスゴーの会場と日本を繋いだ学生による対話イベントを実施。

東京大学の学生だけではなく、国連大学や海外の大学に所属する学生など、現地の会場でも多数の学生等が参加。

今回のイベントを若い世代を気候変動対策に向けた取組みに巻き込むきっかけに。

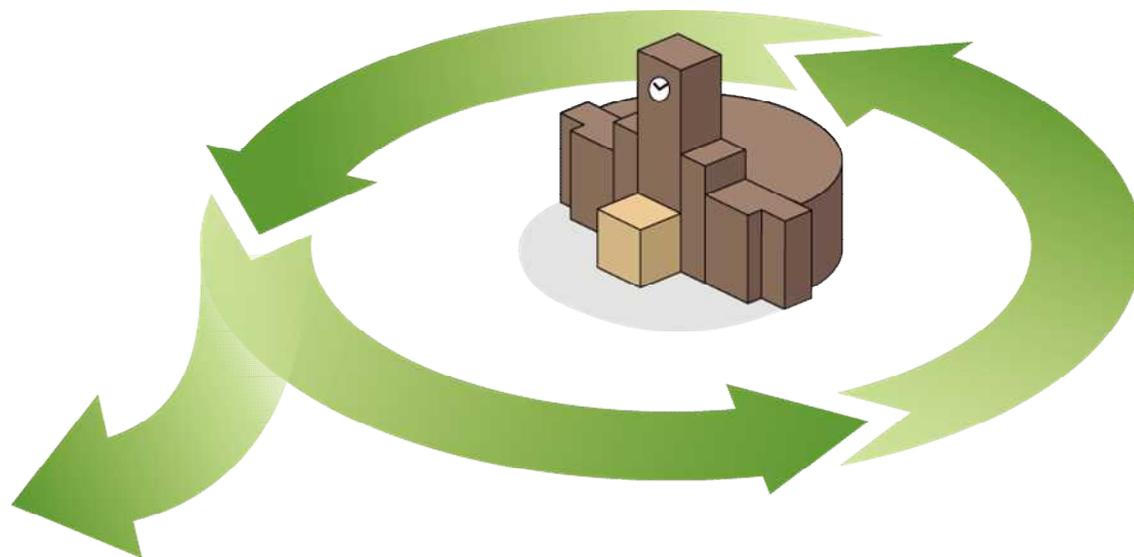
GXに向けた文京区等との連携

文京区をはじめ、キャンパス等が立地する自治体と脱炭素の実現に向けた実行計画策定の支援

文京区内には19もの大学・短期大学があり、地域で連携した取組みを検討中

GXに向けた地域連携の在り方について、他大学・他地域が参照可能なモデルとして発信を目指す。

GXモデル



文京区内の大学・短期大学

- | | | |
|------------|-----------------|-------------------|
| 跡見学園女子大学 | 筑波大学(附属学校教育局) | 日本医科大学 |
| お茶の水女子大学 | 貞静学園短期大学 | 日本社会事業大学 |
| 国際仏教学大学院大学 | 東京医科歯科大学 | 日本女子大学 |
| 順天堂大学 | 東邦音楽大学・東邦音楽短期大学 | 日本薬科大学(お茶の水キャンパス) |
| 拓殖大学 | 東洋大学 | 文京学院大学 |
| 中央大学(理工学部) | 東洋学園大学 | 放送大学東京文京学習センター |

キャンパスが立地する自治体

- 東京都文京区
- 東京都目黒区
- 東京都中野区
- 東京都港区
- 東京都西東京市
- 千葉県柏市
- 千葉県千葉市

未来社会における地域と大学の協創 種子島における今後の取り組みについて

東京大学
未来ビジョン研究センター

菊池 康紀

兼担：大学院工学系研究科化学システム工学専攻、兼務：「プラチナ社会」総括寄付講座
ykikuchi@ifi.u-tokyo.ac.jp



東京大学未来ビジョン研究センター
Institute for Future Initiatives, The University of Tokyo



令和4年3月12日(土)

これからのことを考える

パリ協定(2015採択、2020～)

ゼロカーボン宣言
気候非常事態宣言

持続可能な開発目標
(2015採択、2030目標)



Society 5.0(2016～)



地域循環共生圏
(2018～)



2015年

2022年

2030年

2040年

2050年

短期的対策

中期的ビジョン

長期的
ビジョン

超長期的
ビジョン

フォアキャスト
ステイニング

協創に基づく
シナリオ分析

バンクキャスト
タイミング

ビジョン

- 持続可能な社会
- 循環型社会
- プラチナ社会

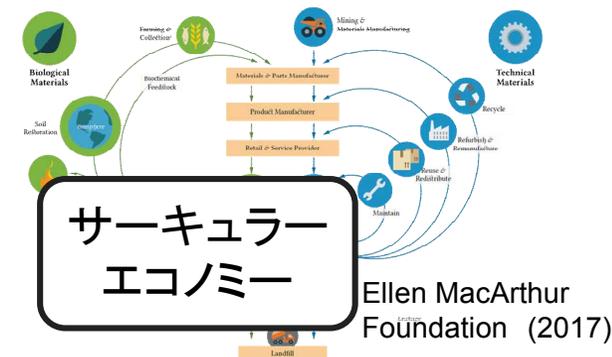
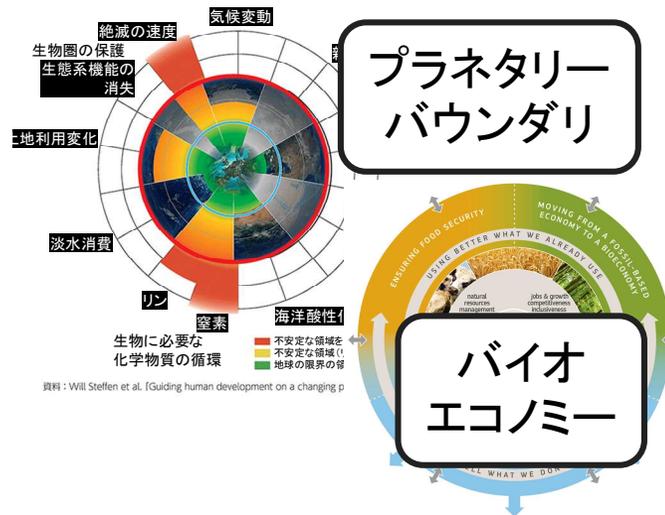
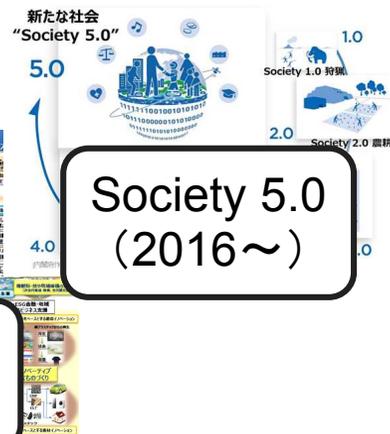
これからは、 カーボンニュートラルへ向かう社会

その中で、多様な国際的要求を満たしながら、社会を変えていく。



持続可能な開発目標
(2015採択、2030目標)

地域循環共生圏
(2018～)



これまでの社会の前提の一部が変わる → 価値観をかえる
ただし、持続可能である ⇨ カーボンニュートラル
カーボンニュートラルだけでも持続不可能

2030年、2040年、2050年に
種子島での生活はどうなっていたいのか？



種子島：課題解決先進地域としての期待



- 資源に富む地域
 - 一人あたり使用できる面積：約15,000 m²/人
 - 東京都23区 (65 m²/人)の約230倍
 - 日照の好条件による太陽光パネルの積極的導入
 - 物質生産性が高く世界的に活用されているサトウキビの産業
 - 森林資源が入手可能
- 地域としての代表性
 - 森林、稲・茶・芋などの農業、土壌成分、など日本の平均的な状態を代表しうる特徴
- 課題先進国 日本において、先進して課題が顕在化

産学公協創による社会実装への挑戦

- 種子島一市二町と地域内外の産業、大学と技術・システムの実証試験
 - 2014年から活動
 - 地域内外から産学公の関係者が協創
 - 包括連携協定に基づくネットワーク化
- イノベーション：革新的、新結合
- 最先端科学と地域課題の構造化



The World Cultural Council Award: Special Recognitions

Kikuchi Y. et al., Sustainability Science, 2020

https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/fsi/ja/projects/sdgs/projects_00106.html

地域でのワークショップと設計・評価：例 種子島

講演会・セミナー・授業・シンポジウム・アンケート
調査・校区座談会 etc



地域の課題、ビジョン（残したいもの、伸ばしたいもの）

WS・検討会

- 地域のビジョン、ニーズ、課題
- 地域の大切にしたいもの



シニア



住民視点の発案・発信



- 中高生らによる種子島のプラチナ社会設計
- 自治体主催シンポでの住民への発信

科学に基づく
知見・データ

地域資源の循環利用を促す技術・システム

地域全体と
各産業や主体への
影響可視化

知恵と人材の循環

地域のビジョンを実現するための技術・システム設計

地域外にある知見や技術の情報：
発想の解放、思い込みの払拭

地域将来ビジョンとしての落とし込み
/地域のプレイヤーの巻き込み

地域が大学を活用して未来ビジョンを実現

東京大学目指す理念と基本方針

UTokyo COMPASS

多様性の海へ：
対話が創造する未来

Into a Sea of Diversity: Creating the Future through Dialogue

2021/9/30

<https://www.utokyo.ac.jp/ja/about/president/utokyo-compass.html>

COI-NEXT本格型 **始動します**
(2022.4~2032.3(最大))

- 地域内外のネットワークを大学等研究機関を活用して実現



ビヨンド・”ゼロカーボン”を目指す
”Co-JUNKAN”プラットフォーム
研究拠点

【イベントのご案内】

2022年3月15日

イオン東大里山ラボ シンポジウム